

第6回三番瀬評価委員会の開催結果（概要）

- 1 開催日時 平成20年3月26日（木）午後6時5分から8時45分
- 2 場所 船橋商工会議所会議室
- 3 出席者 委員8名（細川座長、蓮尾副座長、朝倉委員、岡安委員、野村委員、望月委員、横山委員、吉田委員）
- 4 参加人数 16名
- 5 配付資料
資料1 第5回三番瀬評価委員会の開催結果（概要）
資料2 - 1 平成20年度三番瀬再生事業について
資料2 - 2 再生事業の評価に使用できるデータの例
資料2 - 3 三番瀬周辺海域の水質経年変化
資料3 市川市塩浜護岸改修事業に係るモニタリング手法関連
資料4 - 1 平成19年度三番瀬自然環境調査事業の概要
資料4 - 2 平成20年度三番瀬自然環境調査（案）
資料 三番瀬海生生物現況調査（魚類着底状況）
資料 平成19年度三番瀬鳥類個体数経年調査中間報告
資料 平成19年度三番瀬鳥類行動別個体数調査
資料 平成19年度三番瀬スズガモ・カワウ食性等調査
参考資料 平成20年度千葉県三番瀬再生実施計画（案）抜粋

6 結果概要

（1）あいさつ

県総合企画部荘司理事からあいさつがあった。

（2）開催結果の確認委員

細川座長からの指名により、岡安委員、横山委員が会議開催結果の確認を行うこととなった。

（3）議事

議題1 平成19年度三番瀬再生事業の評価等について

ア 市川市塩浜護岸改修事業について

事務局から、資料3に基づき、平成19年度塩浜護岸改修事業に係る状況についての報告があった。

報告内容に対する委員からの意見は特になかったが、会場から、次の意見があった。

- ・評価委員会として、事業の評価基準を定めるよう検討していただきたい。

（座長まとめ）

- ・19年度護岸改修事業実施に伴う三番瀬の環境に対する影響について、評価・検討を行った結果、現時点で示された材料からは、引き続き事業を継続して問題ないと判断する。
- ・ただし、今後の推移については引き続き注意深くモニタリングを行うこと。
- ・評価委員会としての検証基準については、次の機会に議論していきたい。

イ 三番瀬自然環境調査事業について

(ア) 平成19年度三番瀬自然環境調査事業の概要

事務局から、資料4-1及びスライドにより、19年度事業についての報告があり、質疑応答が行われた。

(主な意見等)

海生生物現況調査(魚類着底状況)について

- ・種類数の増加は、分類担当者の精度によって変わる場合があるため、その点に注意してとりまとめを行うこと(野村委員)
- ・特にベントスやプランクトンなど、小さい生物では分類の仕方によって結果が変わるので注意が必要(望月委員)

鳥類個体数経年調査について

- ・カワウなど、ねぐらと採餌場が近いものは、同一個体を複数カウントしてしまう可能性があるため注意が必要(蓮尾委員)
- ・調査結果は生データを見られる形で提出してもらいたい(蓮尾委員)
- ・夜間調査の結果表記については、双眼鏡の視野等を考慮するなど改善の余地がある(望月委員)
- ・14年度調査との比較だけで考察せず、長期間のデータと比較すべき(望月委員)

鳥類行動別個体数調査について

- ・カムリカイツブリ、オオソリハシシギも調査にいれてほしい(蓮尾委員)
- ・密度分布図の作成を検討すること(望月委員)
- ・種ごとのコメントは詳細な解析を踏まえ再検討すること(望月委員)

スズガモ・カワウ食性等調査について

- ・カワウ吐出物の検体数、重量についても報告してほしい(蓮尾委員)
- ・経年変化とカワウ飛翔状況については、取りまとめに当たっては他の資料も収集しておくこと(蓮尾委員)

その他

- ・データの代表性の目安を表記してほしい(岡安委員)
- ・過年度と現在で、鳥の行動範囲内における環境の変化を資料としてつけると補足になるのではないかと(岡安委員)

(イ) 平成20年度三番瀬自然環境調査(案)

事務局から、資料4-2により、20年度調査の概要についての説明があった。

(座長まとめ)

- ・19年度調査のとりまとめに当たっては、各委員から指摘のあった解析の留意点に充分配慮のうえ、作業に当たること。
- ・今後、複数の事業が同時に進行する場合に、どのような評価を行うのかを検討していきたい。

議題2 その他

事務局の組織変更についての報告があった。

(会場からの意見)

- ・委員各位には、5月、6月の大潮の時期に現地をみてほしい。

以上